

森りょうじ リポート。(100号)

～ 森が動く、皆さんと一緒に動く。～

■伝える責任と情熱。～創刊100号に寄せて～

平成15年より発行している会報が、100号を数えました。長い間続けることが出来た理由は2つあります。一つは市民の皆さんの『市政への関心の高さ』です。駅の配布では多くの読者に支えられ、ポストイン後には多世代の方から感想を頂きます。これは一番の励みです！

二つ目は活動を支えて下さるボランティアの方々 の存在です。会報活動を通じて“人の繋がり”が生まれ、一緒にまちづくりを行う仲間も出来ました。会報に学び、会報に育てられた17年とも言えます。(裏面につづく)

■新型コロナウイルス問題への対応について

年明け以降、世界的な問題となっている新型コロナウイルス感染症問題(以下「感染症問題」)。市内でも複数の感染者が発生しており、日々緊張が高まっています。

そのような状況に対し市議会は、対策への意思表示を示した決議を行い、行政への働きかけを強めています。また会派では「休校を求める申し入れ」を提出し、個人では政府や市の方針を積極的に把握し、速やかに皆さんへ共有したり、不安や悩みの声を聴く活動をしています。未だに収束見通しが立たない状況ですが、今後の市政への影響を見据えながら、全力で取り組んでいきます。

■ご案内(森から皆さんへ)

- ① 感染リスク回避のため当面の間、朝の駅活動を中止します。感染症問題が落ち着き次第、再開致します。
- ② YouTube『森りょうじチャンネル』を始めました！
- ③ 令和2年度第2回定例会の日程案は6/4-6/24です。

○1976年6月12日流山生まれ(43歳) ○家族:妻

※サラリーマン家庭(父はNTTに勤務)で育つ

流山市立新川小、流山市立北部中卒業

日本大学第一高校、武蔵大学経済学部卒業

○2000年4月 大成建設株式会社に入社(管理部ほか)

○2003年4月 流山市議会議員に初当選(2,692票)

○2011年4月 流山市議会議員二期目当選(4,508票)

○2015年4月 流山市議会議員三期目当選(5,830票)

○2019年4月 流山市議会議員四期目当選(8,961票)

※政治理念はケネディ大統領の「国が何をしてくれるのではなく、自分が国のために何ができるか」。

森りょうじ

森が動く。



流山市議会議員

討議資料

東京オリンピック・パラリンピックが延期になりました。中止ではない判断に安堵しています。五輪は世界の方々に、日本を見て頂く絶好の機会になります。一年後には今回の感染症問題が収束し、大きく変貌を遂げた“新しい日本の姿”を見て頂く機会になればとも感じています。

森が動く。①

【令和2年度予算を採択！】

第1回定例会は2/20-3/23の日程で開かれ、令和2年度一般会計予算を含む議案28件(執行部提案)を審査しました。概要と私の注目点は以下の通りになります。(議会選出の監査委員のため一般質問は見送りました)。

① 過去最大規模の予算！(令和2年度予算)

予算額698億円は前年度予算(600億円)と比べて16.3%の伸び率です。過去にこれほどの伸びを経験したことはありません。当市発展の勢いを感じる数字と言えます。

② 未来への投資(子育て支援・教育の充実へ)

予算拡大の要因は福祉関連の民生費(構成比45.9%)と教育費(同22.1%)です。前者は子育て世帯の急増に伴う支援策と高齢者社会対応や障がい者施策の充実によるものです。特に私立・小規模保育所整備や保育士の確保に関して積極的な予算配分がなされています。教育費では新設小学校建設や、私も注力してきた不登校対策・いじめ防止対策の推進など、課題を抱える子ども達に寄り添うための施策が目立ちます。

③ 予算をより良く使うために(指摘・要望)

議会は予算の審査にあたり、予算を執行する上で「最大の効果」を得られるよう指摘や要望を行ないます。以下は声が多かった指摘・要望事項です。



公共交通強化への期待は大きい

- ・実効性のある公共交通網形成計画の策定
- ・感染症対策(マスク備蓄など)の充実強化
- ・2022年問題(生産緑地特例廃止)への対応

④ 皆さまの声がカタチになります(地域課題)

- ・自治会が設置する防犯カメラへの助成
- ・計画的な下水道整備(西深井・美原など)
- ・緑化保全(中野久木散策の森整備など)
- ・東武線沿線(江戸川台地区)遊歩道整備

WebSite「森りょうじ」を検索！
また Twitter・Facebook も更新中！

森が動く。②

【伝える責任と情熱。～活動の軌跡～】

(表面より)では会報を始めるに至った原点は何か？それは初めて選挙に出馬した際、市民の方に言われた『選挙以外でも“見える活動”をして欲しい』の一言でした。

議員歴14年目を迎えたいま改めて感じることは、私たち市議会は市民生活に関わる大切なことを決定していると言う責任の重さです。そのため当然のことながら、決まったことを、市民の皆さんに報告する責務があります。その際“伝える責任と情熱”を持っていなければ、続けることは出来ません。それは私自身が実践してきたからこそ、胸を張って言えることです。今ではSNSやブログを使って簡単かつタイムリーに情報の配信が出来ますが、幅広い世代に伝わる力としては紙媒体はネット以上のものがあると感じています。ですので、今後も基本活動にしていきたいと思えます。



《過去の会報で使用した写真。上が初代》

もちろん紙媒体とは違い、SNSの魅力の一つは「双方向」でやり取りが出来る点があります。前述の通り、今でこそ会報に対して多くの反応を頂きますが、一般的に紙媒体は議員側が「一方的に伝える」面が強く、皆さんの声を把握する難しさもあります。そのため今後の広報活動は、紙媒体とネット技術を上手に併用することで、まずは(市民の皆さんに)「関心を持って頂くこと」、次に「声を上げていただくこと」、最後に「自ら参画していただくこと」の3段階のステップアップをイメージしながら、今まで以上に情熱を持って広報活動をしていきたいと思えます。

流山市議会議員

森りょうじ
RyouTube
始めました。



《令和2年4月から動画もスタート！》

【事務所】流山市中野久木 559-2
TEL & FAX: 7155-3236